

---

---

# ～ 「人手が足りない!!」「職場が回らない!!」を部署内で解決する ～ 業務量平準化による

## 人手不足解決方法

業務量アンバランスを「見える化」 → 平準化 → 人員捻出 → 人手不足解決!!

---

---

【受講対象者】 人手不足に悩む部課長・主任クラス( 部署不問 )  
業務改革推進部門および総務・人事・管理部門の部課長・主任クラス

### 【受講のおすすめ】

『パレートの法則』の通り、放っておけば仕事の 8 割は仕事のできる 2 割の優秀な社員に集中します。その結果、優秀な社員は慢性的に過重労働を強いられ、メンタル不全を発症したり、会社に見切りをつけて転職してしまいます。その結果、御社はその未来を担う優秀なエース社員を喪失することとなります。

以上は担当者間の業務量アンバランスに起因する悲劇ですが、他にも月間・部署間の業務量アンバランスが存在し、社員には過重労働、会社には残業・休日出勤による超過勤務手当発生、という形で経営にダメージを与えています。

そこで当セミナーでは、業務量の平準化によって労働生産性を向上し、捻出した余剰人員により人手不足を解決する方法についてお教えします。具体的には、a.業務の実態の数値データ( 投入工数 )による「見える化」、b.業務量アンバランス( 担当者間・月間・部署間 )の平準化、c.平準化を実現するシステムの構築、の3つです。

講義では、業務量の平準化だけで労働生産性を 4.9%も向上させ人手不足を解決したクライアント事例紹介および演習を交えつつ、御社でも実施できるよう分かりやすく説明します。費用が掛からず効果は絶大かつ即効性に優れる当手法は人手不足問題解決の決め手です。その真偽のほどは、当日あなた自身の目でご確認ください。

### 【講師】

(株)トータルマネジメントシステム研究所 代表取締役 角川 真也 ( つのかわ まさや )

中堅部材メーカーにおいて社内コンサルとして間接業務の「見える化」「最小化( ムダ取り+効率化 )」「標準化」手法を全社展開、生産性を 300%向上させ会社倒産の危機を救う。独立後は『組織マネジメントシステム( ERP )』自社構築による間接業務の生産性向上手法普及に専従。数値データ(時間・金額)を駆使した科学的マネジメント手法による組織パフォーマンス向上を得意とする(「TMS 研」で HP 検索可)。セミナー開催実績：84 回/11 年、受講者累計：922 名、受講者評価：平均 77.8 点、著書『R&D 部門の働き方改革とその進め方』( 技術情報協会刊・共著 )

## 【プログラム】

### 1.業務量のアンバランスを放置し続ける恐ろしさ

- 1) 3つの業務量アンバランス
- 2) 業務量のアンバランス放置が招いた悲劇
  - ①メンタル不全発症
  - ②主力製品の無期限出荷停止処分
- 3) この悲劇から学ぶべきこと
- 4) 業務量平準化はなぜ必要か？

### 2.業務量平準化の前にすべきこと

- 1) 従業員の本音の「見える化」
  - ①困りごと
  - ②不平・不満
  - ③会社への提言
- 2) 既得権者(業務量の薄い人)の抵抗勢力化未然防止策
- 3) 業務移管を可能にするシステムの構築
  - ①なぜ業務移管は困難なのか？
  - ②業務移管に要する工数の極小化がポイント
  - ③「マニュアルの三重苦」とその解消方法
- 4) 使える業務マニュアル

### 3.業務量のアンバランスを「見える化」する

- 1) 投入工数による部署業務の実態の「見える化」
- 2) 担当者間
- 3) 月間
- 4) 部署間

### 4.業務量のアンバランスを平準化する

- 1) 担当者間
- 2) 月間
- 3) 部署間
- 4) 業務量平準化の効果(人手不足解決事例紹介)

### 5.質疑応答・アドバイス